

家庭学習の習慣化 3つのポイント



家庭でできることは、家庭学習の環境づくりです。まずは、家族が協力し合って、学習習慣が身に付くような場づくりから始めましょう。

ポイント1 生活のリズムを整えましょう

- ① 「早寝・早起き・朝ご飯」や朝の排便など、規則正しい生活を送らせましょう。
- ② 規則正しい食習慣をつけ、基礎体力をつけさせましょう。
- ③ テレビや携帯電話（スマートフォン）、ゲームの時間などの決まりをつくり、約束事を守らせましょう。

ポイント2 学ぶ雰囲気をつくりましょう

- ① 学習は、静かで集中できる環境で取り組むことが大切です。学ぶ雰囲気づくりは、家族の協力が必要となります。
- ② 身の回りの整理整頓をさせましょう。学習の場は、学習に使うものだけを置くようにし、ゲーム機やマンガなど気の散るようなものは近くに置かないようにさせましょう。

ポイント3 子どもとの対話を深めましょう

- ① 学校での出来事や学習の様子を聞き、子どもががんばっていることや困っていることを理解するようにしましょう。
- ② 新聞記事やニュースなどを話題にして、社会へ目を向けさせましょう。
- ③ お互いにおすすめの本を教え合うなど、読書への関心を高めましょう。

学力形成は生活習慣から

お子様の学力形成には、学習の習慣はもとより生活習慣も大きく関わっています。成績の伸び悩みの要因の一つに、「ルーズな生活態度」があります。つまり、「やるべきことを怠けてやらない」とか「やっても雑だったり、いい加減なやり方だったり」すると成績が伸びないということです。反対に、「早寝・早起き・朝ごはんの習慣」や「自主的な家庭学習」が身に付いている生徒は平均正答率がよいという結果が全国学力・学習状況調査から明らかになっています。

学力の差は、こうした取り組み方の差から出てくることから、ご家庭で「粘り強く、投げ出さないで取り組む姿勢や生活態度」をサポートしてあげてください。

